



会員の皆さまへ

経済学部同窓会長 住野 公一



皆様こんにちは。

新年早々に石川県能登地方に地震が襲い、津波と共に大きな被害をもたらしました。

卒業生の皆様の中には、被災された方もおられるのではないかと思います。

心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復興をお祈りします。

このような災害は、日本に於いてはいつ何処にやって来るかは分かりません。

日頃から非常時に備えておく必要を感じると共に、連帯する事の大切さを感じます。

本同窓会の存在は、このようなことにも寄与するのではないかと思います。

物質的な支援だけでなく、「心の繋がり」が感じられれば大いに心強いのではないかと思います。

どうかいつも何処かに、立命館大学経済学部同窓会の存在を頭の片隅に置いていただくようお願いいたします。

学部長のご挨拶

経済学部長 高屋 和子



日頃より経済学部に温かいご支援をいただいておりますこと、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

また、1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により北陸地域で大規模な被害が起きております。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

長らくコロナ禍を経て、様々な活動制限がようやく解除され、学生生活も通常をとりもどしつつあります。しかし、この度の地震のような自然災害、紛争、先行き不透明な経済状況など、先を見通すことが難しい、厳しい状況が続いています。コロナ禍において、人と人とのつながりやネットワークの重要性が改めて認識されました。このような難しい時代だからこそ、様々な分野で活躍されている皆様や、様々な立場の方々が集まる経済学部同窓会のようなネットワークの重要性が高まっています。

少子高齢化など、大学にとっても厳しい時代が続きます。しかし、立命館大学経済学部は多くの、層の厚い同窓会会員の皆様に支えられ、そのことが学部の大きな魅力になっております。我々教職員も大いに学び、学生教学の発展に取り組んで参る所存ですが、何卒同窓会会員の皆様からも引き続きのお力添えをいただきたく、改めてお願い申し上げます。2024年度はびわこくさつキャンパス開設30周年を迎えます。これまでの感謝と今後の発展に向けイベントが企画されております。これを機会にびわこくさつキャンパスにも是非お越しください。

最後になりましたが、会員の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念しますとともに、なお一層のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。年度替わりの挨拶とさせていただきます。

立命館大学経済学部同窓会事務局

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 立命館大学経済学部事務室内
TEL:077-561-3940 FAX:077-561-3947
E-mail:ecalumni@st.ritsume.ac.jp
同窓会 HP : <http://r-ecalumni.com/>



経済学部同窓会講演会を開催！

同窓会では2023年11月18日朱雀キャンパスの大講義室にて、第15回講演会を実施しました。当日は、立命館大学情報理工学部教授でありピブリオバトルの発案者である谷口忠大教授をお招きしました。

講演テーマは「実世界人工知能と次世代共生社会に向けて～生成AIと記号創発システム科学～」。谷口教授は生成AIの発展とそれが社会に与える影響について専門家ではない参加者にわかりやすくご説明いただきました。特に、生成AIや大規模言語モデルの進化についての詳細な説明は、参加者に新たな知見を提供しました。後半の質疑応答の時間は、会場から時間いっぱいまで質問がなされ、参加者は人工知能やChatGPTについての理解を深めることができました。

講演後のアンケートでは、「AI技術に対する理解が深まった」「社会との共生に関する議論が有意義だった」といった肯定的な意見が多数寄せられました。参加者はAI技術の進展に対する関心を新たにし、特に生成AIやChatGPTに関する興味が高まった様子でした。この講演会は、AI技術と社会の共生に関する知識を深める貴重な機会となり、技術進歩と社会の共存に関して参加者に多くの示唆を与えました。同窓生にとっては、今後の社会におけるAIの役割を考える有意義な時間となったことと思います。

なお、この文章はChatGPT4を利用して素案を生成しています。人工知能のサポートを得ることでかなりスムーズに作成できました。職場での業務効率も良くなるかと思しますので、皆様もChatGPTの活用を試されてはいかがでしょうか。

(文：経済学部同窓会講演会委員会)



2023年度 経済学部就職活動応援企画「メントレ」を支援！

2024年1月6日(土)、7日(日)に経済学部就職活動応援企画「メントレ」が開催されました。本企画は、「なぜ学ぶのかを考えることは、自分を考えることであり、それはなぜ働くのかにつながる」をコンセプトに、経済学部同窓会の支援のもとに実施している学部独自の就職支援イベントで11回目の開催となります。今年も本格的な就職活動を目前に控えた3回生を対象に、経済学部同窓生の皆様に2日間にわたって模擬面接やエントリーシートの作成の指導を行っていただきました。

今年度は、同窓生約60名、在学生約50名が参加し、多くの同窓生と在学生が交流する機会になりました。



同窓会、各地で開催中！

経済学部同窓会では、経済学部 OBOG の皆様の同窓会開催の補助を行ってまいりました。長らく続いたコロナ禍を経て、久しぶりの旧友と懇親を深めるべく、多数の同窓会が開催されました。

経済学部社会人学生同窓会

同窓会開催に先立ち、同日びわこくさつキャンパスにて開催された「経済学教育学会」にて、20年間継続していた、社会人学生卒業生の学習会の取り組み報告を3名で報告した。懇親会参加者は、学会にも参加していたため、報告内容が中心話題となり、今後どのように生涯学習、すなわち学習会を進めていくかも話題となった。合わせて、来年5月頃に規模を拡大して同窓会の企画準備も進めようと話にも及び、終始活発な議論の中、会を終えた。

(稲葉 和夫)



紀國ゼミ同窓会

2012年から続いている紀國洋ゼミの同窓会は、コロナ禍期間中はオンラインで開催していましたが、2023年10月7日(土)に4年ぶりに京都にて対面で開催しました。多数の卒業生、在学生在が参加し、大いに盛り上がりました。司会を務めた上野氏(9期生)が開会の辞を述べ、ゼミ教官である紀國先生からは乾杯の言葉をいただきました。

同じ年代の卒業生同士が思い出を交換したのち、公務員、金融機関、製造業、サービス業などの業界別にグループ分けをして席替えを行いました。同じ業界での情報交換ができたとともに、そこに在在生も入り興味を持つ業界の先輩方に話を聞くなど、卒業生、在在生ともに有意義な時間となりました。

閉会の挨拶は5期生の磯部氏が行い、大盛況のうちに同窓会を締めくくりました。

(上野 昭夫)



文蟬会(後藤文治ゼミ同窓会)

10月28日(土)正午から京都の「東華菜館」で開催。経済学部後藤文治ゼミ(文蟬会)はコロナ等の理由で5年間の中断があり、5年ぶりの開催となった。1期生~9期生までのうち、今回は1期生~7期生までの27名が集まった。京都、大阪、奈良、滋賀の関西のみならず、東京、愛知、岐阜、三重、福岡から出席があった。式次第に則り、開会、物故者黙祷、歓談、校歌斉唱、各期生近況、母校の現状、文蟬会担当幹事交替、応援歌斉唱、エール、全体集合写真撮影、閉会。久しぶりにゼミ生と旧交を温めることができた。2年後に文蟬会を開催することを確認した。

(裏田 武)



経済学部より

【退職教員】（職位・50音順）

2024年3月末をもって以下の教員が退職されました。

氏名	専門分野
松本 朗 教授	社会経済学、貨幣信用論、国際価値論
吉岡 真史 教授	経済統計、経済政策、財政・公共経済

※ 2024年4月より特任教授として在職されます。

同窓会事務局より

【『学生時代の思い出』を募集します】

皆様の学生時代の思い出や近況報告等を執筆いただき掲載する、『学生時代の思い出』を募集しております。これは、「原稿執筆者それぞれの学生時代の思い出を振り返ることにより、その時代時代の社会情勢や風潮、大学や経済学部を取り巻く環境、学生像などを顧みること」を目的に出版された『50周年の思い出』の続編にあたるもので、広く経済学部同窓生の皆様より原稿を募集したいと考えております。掲載ご希望の方は以下の要領にて事務局までお送りください。

- ① 原稿（学生時代の思い出や近況報告等、2,000字程度）
- ② 経歴（生年月日、卒業年、勤務先等、可能な範囲で結構です）
- ③ 写真（可能でしたら、学生時代と現在の2枚をメールもしくは郵送にてお送りください。）

頂戴しました原稿は、経済学部同窓会 HP に掲載させていただきます。

●同窓会費の納入方法について

同窓会は、皆様から納入された終身会費（¥10,000）で運営しています。入会を希望され、会費をまだ納入されていない方は、同窓会事務局までご連絡ください。

●住所変更について

会報の送付先の変更は、立命館大学校友会（TEL：0120-252-094、FAX：0120-252-095）までご連絡ください。同時に校友会誌「りつめい」の送付先変更もさせていただきます。



立命館大学経済学部同窓会事務局

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 立命館大学経済学部事務室内
TEL:077-561-3940 FAX:077-561-3947 E-mail:ecalumni@st.ritsumei.ac.jp
同窓会 HP : <http://r-ecalumni.com/>